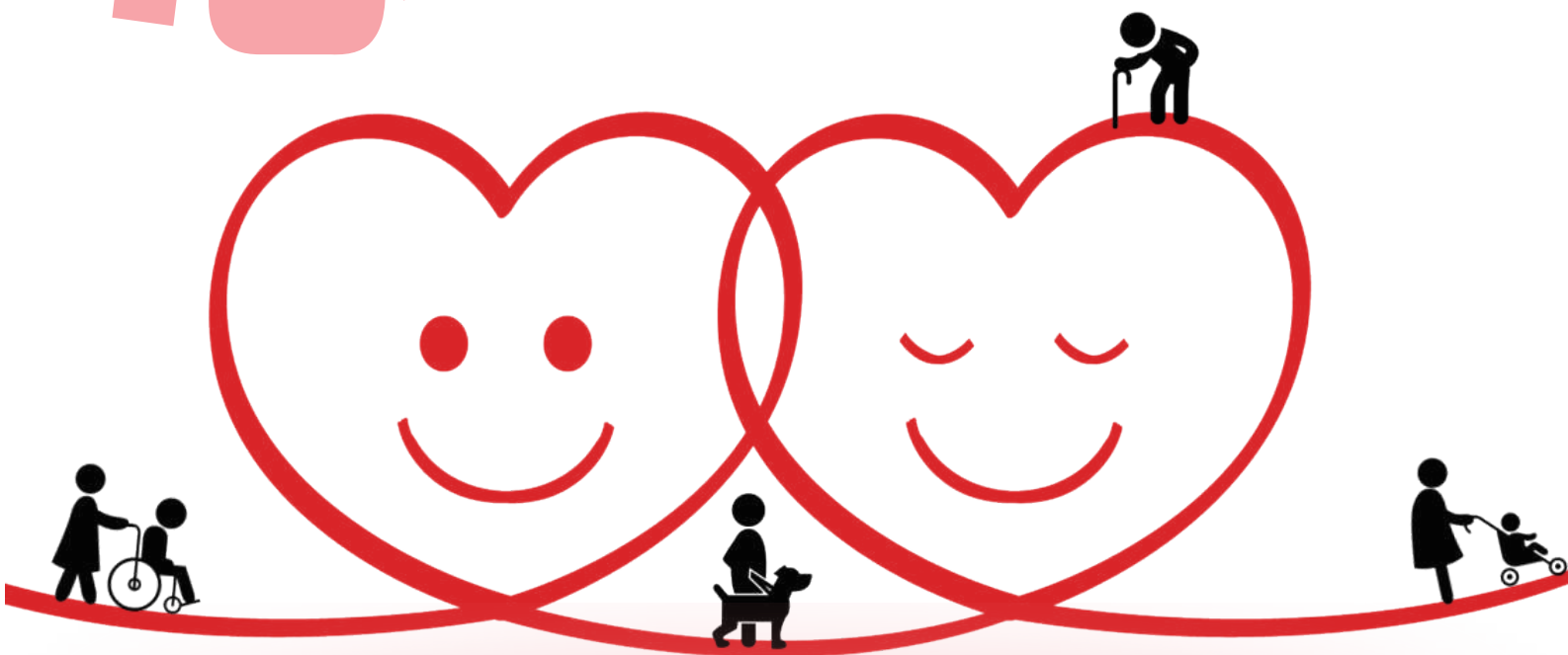


知ってください。

心のバリアフリー



さまざまな心身の特性や考え方を持つ「すべての人」が笑顔で暮らせるように

私たち一人ひとりが、相手の気持ちになって考え、行動し、支えあう

お互いが助け合うことで、なくせるバリアがあります。



京都市
CITY OF KYOTO

行動のポイント

相手の気持ちになって 考えることが大切です

ポイント1

日常生活や社会生活で生じる制限は、本人の心身機能の障害だけではなく、社会における色々なバリアによって生まれるものであり、社会全体の問題であるという考え方を理解する。

例えば、足に障害がある人が建物を利用しづらい場合、「エレベーターがない」といった建物の状況にもバリアを生み出す原因があるといった考え方。

ポイント2

障害のある人が困っているときに、その人に合ったやり方で困りごとを取り除くために、自分ができることは何かを考える。

例えば、聴覚に障害がある人に対して、筆談、手話などの目で分かる方法を用いて意思疎通を行うなど。

ポイント3

バリアに対して正しい知識を持ち、積極的にコミュニケーションをとって、その人の立場になって行動する。

京都市では、駅や周辺道路等のバリアフリー化を推進するとともに、積極的な声掛けや困っている方への手助けの実施など、「心のバリアフリー」を推進するため、『「心のバリアフリー」ハンドブック』を作成しています。

ハンドブックには、駅や道路等における困りごとや私たちができることを紹介しています。是非、読んで実践してください。

京都市：「心のバリアフリー」ハンドブック



発行：京都市都市計画局歩くまち京都推進室 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地
TEL：075-222-3483 FAX：075-213-1064 <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu4/category/51-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

